



発行
認知症カフェ実行委員会

認知症カフェなごみ開催

二月七日(金) 十三時
三十分から西一会館で認
知症カフェなごみを開催
し、参加者は34名、家
族の方も3組来られてい
ました。
●オーブニングは司会の
声に合わせて手指を使っ
ての脳活教室。担当者の
掛け声に合わせて指を折
り、数を数えて、脳活を
行いました。

手芸コーナー

(一) 臨床美術コーナー
臨床美術士の半田育子
氏の指導のもと、今回は
カブを題材に挑戦しまし
た。

青の台紙にカブを置
き、白いクレヨンで外形
を描きます。カブの丸い
ところは、より丸く、葉
の部分も広げて、茎の部
分、葉っぱの部分に黄色
や緑のクレヨンで重ね塗
りします。ハサミで切り
抜き、好みの台紙に貼り
付けます。
(二) 手芸コーナー

色紙を長方形に切り取
り、端面から1〜3まで
ハサミを入れ、のりを付
けてヒョウタンに
巻き付けます。
無地の細く切つ
た色紙を、首の部
分に巻き付けま
す。好みの柄の色
紙で着物を作り、
袖を付けて、お雛
様

ヒョウタンに色紙で
作った着物を着せまし
た。

様の完成です。



お遊びコーナー

(三) 数字盤コーナー
遊びコーナーでは、1から100まで書かれた文字盤の上に、ランダムに保管している数字の駒を、何分かって並べられるか、挑戦していた。

(四) 認知症予防ビー玉コーナー
穴の空いた板にビー玉をパターンに合わせてセットします。ビー玉をパターンから一つ取って、縦または横に一つ飛びで置き、飛び越されたビー玉は箱に戻します。手順が悪いと取れなくなったりビー玉が多く残る。一つだけ残して完了できれば成功です。

(五) 介護相談コーナー
認知症の家族のことで、日頃の悩みや今後の介護の仕方について話し合っていました。

(六) 恒例の半田先生による作品講評。

皆さんは個性的な色使いと立体的な描写をされていたので先生からお褒めの言葉を頂いています。

た。

●最後に「月」「あの素晴らしい愛をもう一度」「寒い朝」を元氣よく合唱して終了しました。

●三月の「認知症カフェなごみ」

開催日 三月六日
(金) 十三時三十分から『西一会館』にて開催します。
多数のご参加をお待ちしています。

《認知症カフェなごみは祭りを除き、毎月第一金曜日開催しています》
会場までは草津駅東口から豆バスが出ています
(十三時三十分発、十三時三十三分着)。なお往復利用の場合、帰りは半額になりますので運転手さんに申し出てください
(半額利用券を発行してくれます)

どなたでもご自由に参加できますので、お気軽にお越しください。
(参加費 2000円)

